

決算認定案の審査より

9月定例会では昨年度の予算が適正に執行されたか、その過程や結果について議会がチェックをする決算認定案の審査を行い、いずれも認定されました。
委員会でどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会

人事管理事務

問 令和4年度幼児教育士の退職者は27人、採用者は20人とありますが、人材は確保できていますか。また、離職防止に向け、どのような取組みをしていますか。

答 例年より育児休業から復帰する職員が多いため充足しています。退職理由は「子育てと仕事の両立が難しい」など様々ですが、離職防止調査を実施し、各園に事務職の会計年度任用職員を配置することで負担軽減し、現場での指導時間等の確保を図るなど改善に取り組んでいます。

職員給与福利厚生事業

問 精神疾患による病欠休職者が増加したとのことですが、休職者を増やさないよう、どのように取り組んでいますか。

答 職員の变化に早く気づくことが重要であると考え、職員にはストレスチェックを実施しています。希望者には臨床心理士による面談を実施するとともに昨年度から

は対面や電話相談の他にパソコンやスマートフォンからの相談もできるように改善を行いました。

シティプロモーション推進事業

問 無料動画配信サービスTVer（ティーバー）でプロモーション動画を広告として配信する取組みにチャレンジしたとのことですがどのような効果を見込んでいましたか。

答 TVerの広告動画は見終わるまで飛ばすことができないため、その機能を活用し県内の20代から30代を対象に配信しました。視聴回数は9万回を超え、関心や認知度向上に繋がることを期待しています。

若者市民協働意識醸成事業

問 高校生を始めとする若者の協働意識を醸成する取組みをどのように展開しましたか。

答 協働意識を醸成するためには、まず本事業を継続して実施することが重要であると考えています。市内にある全ての高校で取組むとともに対象とする若者の幅を広げることが考えていきます。

市立半田病院

問 半田病院の取組みをどのように評価していますか。

答 新たに医療技術局や経営企画室を設け、各部門の横断的な連携の強化や戦略的な病院経営を図れたこと、職員の休暇取得数が増え満足度向上に繋がったことなどが評価できると考えています。



総務委員会 決算審査の様子

文教厚生委員会

地域福祉推進事業

問 コミュニティソーシャルワーカーへの相談内容は、児童・生徒に関するものが多いとのことですが、スクールソーシャルワーカーとの役割分担は明確にできていますか。

答 不登校やひきこもりなどの課題は、まずはスクールソーシャルワーカーが対応し、学校だけでは対応できない案件をコミュニティソーシャルワーカーにつなげるのが本来です。しかしながら、市内に1名のスクールソーシャルワーカーが全件対応するのは難しいため、初期段階からコミュニティソーシャルワーカーが介入するケースもあります。

ファミリーサポート 利用促進事業

問 お試し無料券を1歳6か月健診で754枚配布したのに対し、利用は3件にとどまったとのことですが、1歳6か月健診時に配布した理由は何ですか。

答 事業を早い時期に知っていただくためです。お試し無料券は3歳まで利用できます。

いじめ・不登校対策事業

問 スクールソーシャルワーカーは1名で、全小中学校の要望・相談に対応しているとのことですが、十分に対応ができていますか。